

# 越冬緑肥を使った有機野菜栽培

## 概要 Abstract

- ・ヘアリーベッチを越冬栽培することで雑草の発生を抑えます。
- ・後作緑肥に比べて、播種を1ヶ月ほど遅らせることができます。
- ・後作の有機野菜に対して窒素の減肥ができます。

## 成果 Results

### ①雑草の発生を抑えます！



雑草発生量を  
47～73%低減

ライ麦との混播に  
より、一層低減！

### ②播種は遅くても大丈夫！



播種の晩限は9月上旬～10月上旬

### ③後作(有機野菜)への窒素減肥が可能！

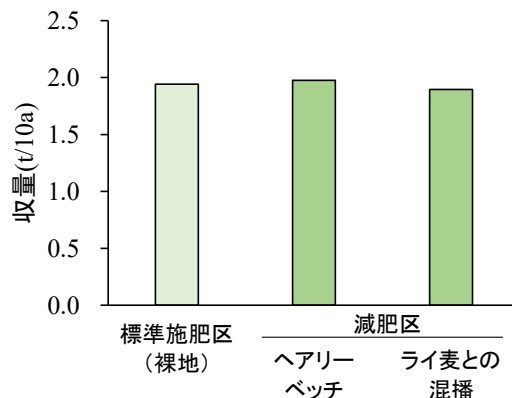


図 緑肥の窒素減肥対応による有機かぼちゃの収量性  
(2018～2020年、5事例の平均)

1) 窒素施肥量 (平均 kg/10a)  
標準施肥区11.2、ヘアリーベッチ6.4 (減肥量4.8)、ライ麦との混播9.5 (減肥量1.7)

すき込まれた緑肥に含まれる窒素分を見込んで  
減肥しても、収量は確保できます！

## 普及 Dissemination

- ・有機栽培のみならず慣行栽培にも活用できます。

## 連絡先 Contact

中央農業試験場  
農業環境部 生産技術グループ  
0123-89-2001  
central-agri@hro.or.jp